

研究課題名 食道癌術後肺合併症ハイリスク症例に対する予防的ミニトラック挿入の適応拡大の効果 に関する情報公開

1. 研究の対象

2009年1月から2019年12月に当院で行った食道癌に対して食道切除術を受けられた方。

2. 研究目的・方法・研究期間

<目的>

当科では2009年から術後肺合併症ハイリスク症例《(1)抜管時、反回神経麻痺があり声門にスリットがある症例、2)低肺機能症例 (FEV1.0<1.5L または%FEV1.0<60%)、3)術前肺炎症例、4)術前UGIで誤嚥のある症例、5)80歳以上の症例》に対し予防的ミニトラック挿入を行っています。2013年までの症例で評価し一定の効果が認められたため、2014年からは適応を拡大しました(抜管時、スリットに関わらず反回神経麻痺のある症例、%FEV1.0<60%→70%の症例、肺以外の臓器障害のある症例)。

今回は適応拡大の効果について評価を行う予定です。

<方法>

胸部操作を伴う食道癌症例を2009年から5年間(2009年～2014年)の108症例(A群)と2014年から5年間(2014年～2019年)の122症例(B群)に分け、術後肺合併症を中心に短期予後を比較します。

<研究期間>

実施承認日から2023年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、術後経過、手術合併症の有無、在院日数等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋市昭和区鶴舞町 65

052-744-2222

名古屋大学医学部附属病院 消化器外科 1 病院講師 深谷昌秀

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 消化器外科 1 病院講師 深谷昌秀